

Bluetooth EXCONNECT

取扱説明書・工事説明書



はじめに

このたびは、Bluetooth E:CONNECT（以降、本製品）をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本製品は、携帯電話（スマートフォンを含む）を接続して内線電話から発着信通話を行う携帯電話通信変換装置です。この説明書（以降、本書）に記載されている内容をご理解の上、本製品を正しく運用いただきますようお願い申し上げます。

本書は保証書、付属品と共に大切に保管してください。

本製品に携帯電話は付属しません。 別途、ご契約願います。

ご使用上の注意

- 本製品及び付属品の使用により生じた金銭上の障害逸失利益又は第三者からのいかなる請求についても弊社では一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品及び付属品は、改良の為予告なしに変更することがあります。
- 本製品の故障、誤動作、不具合あるいは災害・事故等の外部要因によって、通話の機会を逸したため生じた損害などの純粋経済損害につきましては、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 人身及び物損事故につきましては、本製品の使用、不使用を問わず、弊社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本製品のご使用にあたって必要とされる一般的な携帯電話やスマートフォンの操作につきましては、本書では記載しておりません。あらかじめご留意ください。

【ご注意】

- ・ 本書の内容については、改良のため将来予告なしに変更することがあります。
- ・ 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。

目 次

1. 本製品を使用するための準備	4
1. 1 必ずお読みください	4
1. 2 機器設置の前に	8
1. 3 商品構成	9
1. 4 外観及び名称と説明	9
1. 4. 1 背面	9
1. 4. 2 前面および側面	10
1. 4. 3 側面調整用パネルを開けた状態	10
1. 5 Bluetooth 接続をする	11
1. 5. 1 内線電話 (PBX) の接続	11
1. 5. 2 電源の接続	11
1. 5. 3 本製品を複数台設置する場合	12
1. 5. 4 ペアリングの設定	13
1. 5. 4. 1 スマートフォン【iOS 端末】の場合	13
1. 5. 4. 2 スマートフォン【Android 端末】の場合	14
1. 5. 4. 3 携帯電話【ケータイ】の場合	15
1. 5. 5 ペアリングの確認	17
1. 6 壁に掛けて設置する場合	17
1. 7 設置・接続での注意	18
2. 各種設定	19
2. 1 機能設定	19
2. 1. 1 事業者識別番号の解除設定	20
2. 1. 2 内線電話 (PBX) DP/PB 種別	20
2. 1. 3 ナンバーディスプレイ有無設定	20
2. 1. 4 携帯電話着信拒否区分設定	20
2. 1. 5 本製品の ID を登録	20
2. 1. 6 ペアリングを解除	21
2. 1. 7 設定初期化	21
2. 2 音量設定	21
2. 3 エコーキャンセラ設定	22
3. 操作方法	23
3. 1 内線電話 (PBX) から電話をかける時	23
3. 2 携帯電話着信時	24
4. 故障と考えられる時	25
5. 仕様一覧	26

1. 本製品を使用するための準備

1. 1 必ずお読みください



本書は、本製品の取り扱い方法および各機能の操作方法について説明しています。

●安全に正しくお使いいただくために

本書および製品の表示では、製品を安全にお使いいただき、ご使用になる方や他の方々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次の用になっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。




■ 表示の説明

誤った取り扱いをしたときに生じる危害、障害の程度を区分し説明します。




	警告	この表示の注意文を無視して誤った取扱いをすると、「死亡または重症を負う可能性が想定される」内容を示しています。
	注意	この表示の注意文を無視して誤った取扱いをすると、「損傷を負ったり物的損害が想定される」内容を示しています。
お願い		この表示を無視して誤った取扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できない、または、機能停止をまねく内容を示しています。

■ 図記号の説明

お守りいただく内容の種類を絵記号で区分し説明しています。

	⊘記号は、してはいけないこと「禁止」を示します。
	●記号は、しなければならないこと「指示」を示します。
	△記号は、注意を促す内容を示します。

■ 設置場所について

	警告
	●湿度の高い場所への設置禁止 風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
	●本製品は日本国内で使用すること 本製品は日本国内専用です。国外で使用すると火災や感電の原因になります。また、他国には独自の安全規格が定められており、本製品は適合していません。



注意



●火気のそばへの設置禁止

本気や電源ケーブルを熱器具等の発熱する物に近づけないでください。カバーや電源ケーブルの被服が溶けて、火災・感電・故障の原因となることがあります。



●湿度の高い場所への設置禁止

直射日光の当たるところや、湿度の高いところに置かないでください。内部の温度が上がり、火災の原因になることがあります。



●油飛びや湯気が当たるような場所への設置禁止

調理台の近く等、油飛びや湯気が当たるような場所、ほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電となることがあります。



●不安定な場所への設置禁止

ぐらついた台の上や傾いたところ等、不安定な場所に置かないでください。また、本製品の上に重い物を置かないでください。バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因になることがあります。

お願い

●本製品を正常にまた安全に使用していただくために、次のようなところへの設置は避けてください。

- ・ほこりが多い場所
- ・極度に振動が激しい場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・強い磁界を発生する装置などが近くにある場所
- ・多湿の場所
- ・極度に高温または低温になる場所

■使用について

(1) もしも、こんなときは



警告



●発煙への対処

万一、煙が出ている、異臭がする等の異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに本製品の AC コードをコンセントから抜いて、煙が出なくなるのを確認してから、ご購入店か弊社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

お客様による修理は危険ですから絶対おやめください。



●水が装置内部に入った場合の対処







万一、内部に水が入った場合は、すぐに本製品の AC コードをコンセントから抜いて、ご購入店か弊社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。






●AC アダプタ、AC コードが傷んだ場合の対処





AC アダプタ、AC コードが傷んだ状態（芯線の露出・断線等）のまま使用すると、火災・感電となります。すぐに本製品の AC コードをコンセントから抜いてご購入店か弊社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。

(2) 電源について





 警告	
	●家庭用電源以外の禁止 AC100V 家庭用電源以外では絶対に使用しないでください。 火災・感電の原因となります。
	●AC アダプタ、AC コード 専用の AC アダプタおよび AC コード以外は絶対に使用しないでください。 火災・感電・故障の原因となります。
	●AC アダプタ、AC コードの取扱注意 AC アダプタ、AC コードを傷つけたり、分解したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしないでください。また、重い物を載せたり加熱したりすると、損傷し火災・感電の原因となります。
	●ぬれた手での操作禁止 ぬれた手で AC コードや DC プラグを抜き差ししないでください。 感電の原因となります。
	●たこあし配線の禁止 分岐ソケットを使用した、たこあし配線はしないでください。 火災・感電の原因となります。

 注意	
	●AC コード、DC プラグの取扱注意 AC コードや DC プラグを抜くときは、必ずプラグ本体を持って抜いてください。コード部を引っ張るとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
	●乗ることの禁止 本製品に乗ったり、こしかけたり、すわったり、よりかかったりしないでください。特に、小さなお子様のいるご家庭ではご注意ください。倒れたり、こわれてけがの原因となることがあります。

(3) 禁止事項について

 警告	
	●改造の禁止 本製品を分解・改造しないでください。 火災・感電の原因となります。
	●ぬらすことの禁止 本製品に水が入ったり、ぬらさぬようにご注意ください。 火災・感電の原因となります。
	●異物を入れないための注意 本製品の上に花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水の入った容器、または小さな金属類を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合は火災・感電の原因となります。

(4) 其他のご注意

 注意	
	●雷のときの注意 雷が激しいときは、ACコードをコンセントから抜いてください。 万一落雷があった場合、火災・感電の原因となることがあります。 雷が発生した際は、感電のおそれがあるので、ACコード、ACアダプタおよびモジュラーケーブルに触れないようにしてください。
	●電源ケーブルの清掃 コンセントとソケットの間のほこりは定期的に（半年に1回程度）に取り除いてください。放置しておくと、火災・感電の原因となることがあります。
	●長期間ご使用にならないときの注意 長期間ご使用にならないときは、安全のため必ずACコードをコンセントから抜いてください。

●Bluetooth 機能をご使用の場合のお願い

■周波数について

本製品のBluetooth機能は、2.4GHz帯の2.40GHzから2.48GHzまでの周波数を使用します。変調方式はFH-SS変調方式です。与干渉距離は約10m以下です。移動体識別装置の帯域が回避することはできません。

■Bluetoothについて

- ・本製品のBluetooth機能は日本国内規格に準拠し、認定を取得しています。
- ・Bluetooth機器が使用する2.4GHz帯は、様々な機器が共有して使用する電波帯です。そのため、Bluetooth機器は、同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- ・通信機器間の距離や障害物、Bluetooth機器により、通信速度や通信距離は異なります。

■Bluetooth ご使用上の注意

本製品のBluetooth機能の使用周波数は2.4GHz帯です。この周波数帯では、電子レンジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 携帯端末のWi-FiモジュールとBluetoothモジュールが2.4GHz周波数帯を共有し、同時に使用すると互いに干渉し合う場合があるため、Wi-Fi機能とBluetooth機能を同時に使用すると、接続状態が悪くなる可能性があります。干渉を避けるには、携帯端末のWi-Fiを無効にしてご使用ください。
また、Wi-Fiルーター等の機器から距離を開けて設置してください。
4. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、弊社までお問い合わせください。

【お知らせ】

- ・本製品と Bluetooth 接続できる携帯電話の仕様は、ハンズフリープロファイル[HFP]に対応した Bluetooth 対応機種です。お使いの携帯電話の取扱説明書等で確認してください。
- ・本製品 1 台につき、携帯電話は 1 台で接続してください。複数の携帯電話で Bluetooth 接続を行わないでください。
- ・本製品はすべての Bluetooth 対応携帯電話との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべての Bluetooth 対応携帯電話との接続は保証できません。
- ・無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth 標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応していますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth 通信を行う際はご注意ください。
- ・Bluetooth 通信時に発生したデータおよび情報の漏えいにつきましては、弊社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ・通話中に電池が切れた場合や、携帯電話の電源を切ると、本製品とのペアリング接続が切断されます。携帯電話の機種によっては、再起動してもペアリングが切断されたままの場合があります。その場合、再度ペアリングをしてください。
- ・Bluetooth 接続を使用すると、携帯電話のバッテリーは通常より多く消費されます。

●商標について

- ・Android および Android ロゴは、Google Inc. の商標または登録商標です。
- ・Apple、Apple のロゴ、iPhone、および iPhone ロゴは、米国 Apple Inc. の米国および他の国における商標または登録商標です。
- ・iPhone はアイホン株式会社の登録商標であり、Apple Inc. がライセンスに基づき使用しています。
- ・IOS は Cisco の米国およびその他の国の登録商標であり、Apple Inc. がライセンスに基づき使用しています。
- ・Bluetooth は米国 Bluetooth SIG, Inc. の登録商標です。
- ・本書に記載されているその他の製品名、会社名は、各社の登録商標、または商標です。

1. 2 機器設置の前に

- ・本製品は携帯電話を 1 回線収容し、内線電話機を使用して携帯電話での発着信を実現するものです。
- ・当該目的以外の使用はご遠慮ください。

●ケーブル接続での携帯電話は取り付けられません。

●次の場合、Bluetooth 接続で使うことができません。

- ・ Bluetooth 機能が付いていない携帯電話
- ・ Bluetooth のハンズフリープロファイル[HFP]対応していない携帯電話
- ・ IP 電話アプリケーションをインストールしたスマートフォン
(IP 電話アプリでの発着信はできません。)

●デジタル回線には接続できません。

- ・ 内線電話機(PBX)と接続する場合は、PBX 側でアナログ回線ユニットが必要です。

●本製品にはファクシミリ、モデムなどのデータ通信装置の接続は保証できません。

●使用する携帯電話・スマートフォンの電波が良好な場所であることを確認してください。

●本製品を複数台設置する場合、携帯電話・スマートフォンを 30cm 以上 離してください。

1. 3 商品構成

ご使用いただく前に、次の物が全部そろっているか確認してください。
万一、足りない場合は、お手数ですがお買い上げの販売店または弊社(本書の裏表紙に記載)までご連絡ください。

株式会社レッツ・コーポレーション カスタマーサービス	
本社：〒460-0002 名古屋市中区丸の内2丁目20-1 レッツ丸の内本社2号館ビル	
TEL (052) 209-7860	FAX (052) 201-5050

①	本体	1台
②	ACアダプタ	1個 AC100V入力-DC12V出力(2.0A) DCコード部(長さ:約1.5m)
③	ACコード	1本(長さ:約1m)
④	取扱説明書・工事説明書	1部(本書、保証書を含む)



①



②



③

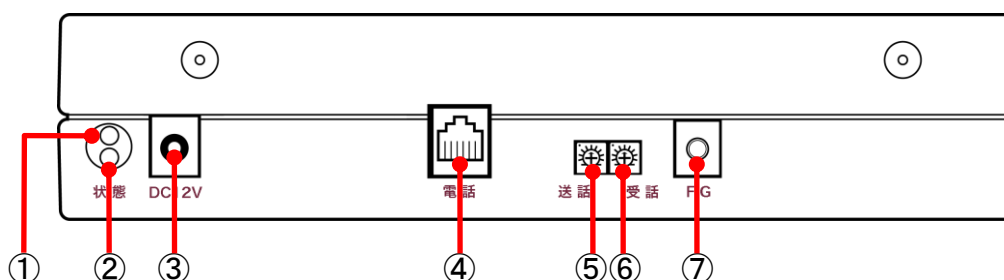


④

本製品に携帯電話は付属していません

1. 4 外観及び名称と説明

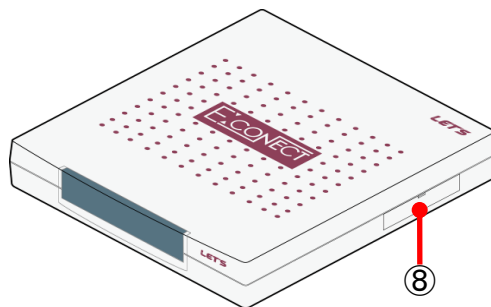
1. 4. 1 背面



名称（説明）

表 記	名 称	は た ら き
① 状態	電源 LED (緑) 【上側】	本製品の電源状態を表します。 点灯：電源 ON です。 消灯：電源 OFF です。
② 状態	動作表示 LED (赤) 【下側】	本製品の動作状態を表します。 点灯：通話中です。 受話器が上がっています。 点滅 (1 秒)：接続 (ペアリング) されています。 早い点滅：ペアリングされていますが携帯電話との Bluetooth 通信が切れています。 消灯：接続 (ペアリング) されていません。
③ DC12V	電源入力	付属の AC アダプタからの DC プラグ接続部です。
④ 電話	電話端子	内線電話 (PBX) からのモジュラーケーブルを接続します。
⑤ 送話	送話音声調整 ボリューム	送話音量を調整します。ボリュームを右に回すと回転させると音量が大きくなります。
⑥ 受話	受話音声調整 ボリューム	受話音量を調整します。ボリュームを右に回すと回転させると音量が大きくなります。
⑦ FG	アース端子	接地用端子です。

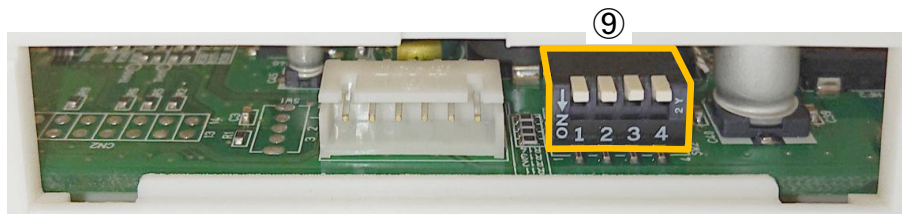
1. 4. 2 前面および側面



名称（説明）

名 称	は た ら き
⑧ 側面調整用パネル	パネルを開けると、ディップスイッチがあります。

1. 4. 3 側面調整用パネルを開けた状態



名称（説明）

名 称	は た ら き
⑨ ディップスイッチ	エコーキャンセラの設定を行います。 「2. 3 エコーキャンセラ設定」を参照。

1. 5 Bluetooth 接続をする

本製品と携帯電話を Bluetooth 接続する方法を説明します。

1. 5. 1 内線電話 (PBX) の接続

(1) 本製品の電話端子に、内線電話 (PBX) からのモジュラープラグを差し込みます。

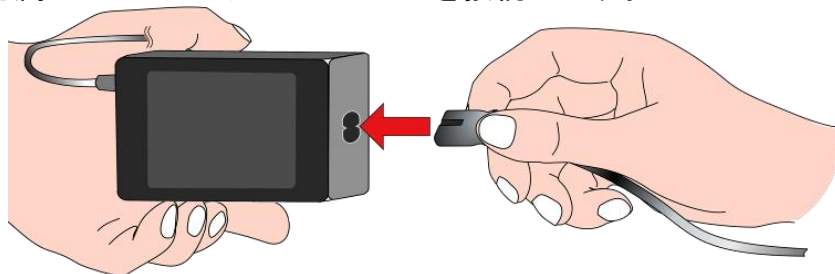


電話端子に接続可能な装置は、PBX 主装置のアナログユニット (ポート) または、一般の家庭用単独電話機です。

※ここで接続するモジュラーケーブルは、お客様でご用意ください。

1. 5. 2 電源の接続

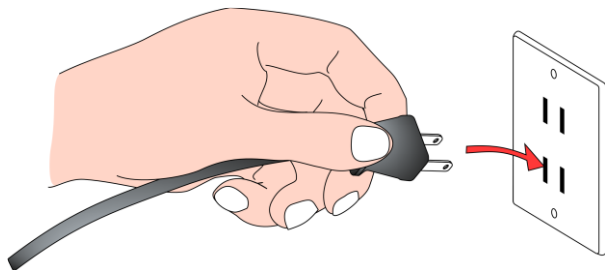
(1) 付属の AC アダプタと AC コードを接続します。



(2) AC アダプタの DC プラグを本製品に接続します。



- (3) 本製品の電源をオンにします。
交流 100V コンセントに AC アダプタのプラグを差し込みます。



- (4) 本体背面の電源 LED(緑) が点灯します。

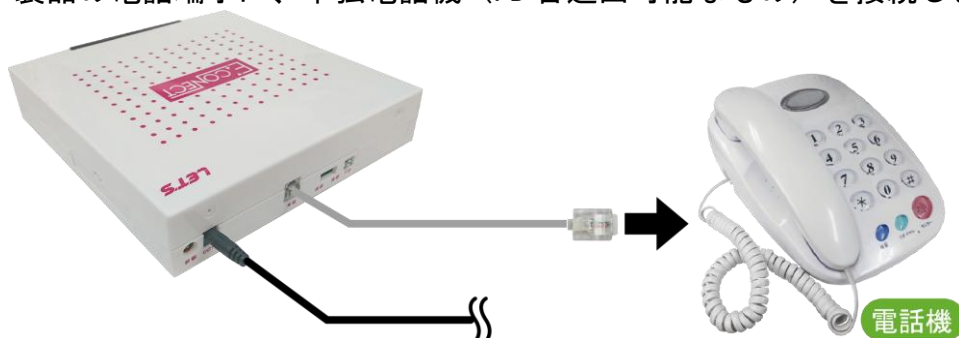
1. 5. 3 本製品を複数台設置する場合

本製品は 1 台につき、携帯電話は 1 台のみ設置できます。

本製品を近くで複数台設置した場合、携帯電話の Bluetooth 接続時に、複数台の本製品を検出する場合があります。

この場合、接続する製品を指定するため、2 ケタの ID を設定する必要があります。

- (1) 本製品の電話端子に、単独電話機 (PB 音送出可能なもの) を接続します。



- (2) 単独電話機の手話器をオフフック (上げる) します。
「ツー」と言うダイヤルトーンが聞こえます。
- (3) 単独電話機の押しボタンを * # 9 0 1 X X # の順に押します。
X X は任意の 2 ケタの番号です。
例: ID を 02 に設定する場合 * # 9 0 1 0 2 # の順に押します。
他の場所で設置されている ID 番号と異なる番号にします。
- (4) 入力が正しければ「トゥ・トゥ・トゥ…」のような音が聞こえます。
誤りがある場合、ビジートーン (話中音) が聞こえます。
- (5) 正常あるいはビジートーンが聞こえる場合、共に、一旦手話器を下ろします。
- (6) 再入力する場合は、手順 (2) からやり直してください。
- (7) 設定を終了する場合は、「電話」ポートから単独電話機を取り外し、内線電話 (PBX) へのモジュラーケーブルを接続します。

1. 5. 4 ペアリングの設定

本製品と携帯電話間を、ケーブルなしで接続をするペアリングを行います。

ペアリングとは、Bluetoothで通信を行う機器同士を接続することです。

この設定は、電波の届く範囲にある機器を探索し、その中からつなぎたい相手（機器）を選択し、暗証番号を入力することにより相互に認証を行います。

本製品と携帯電話間を、Bluetoothのハンズフリーモードで通信を行います。

【お願い】

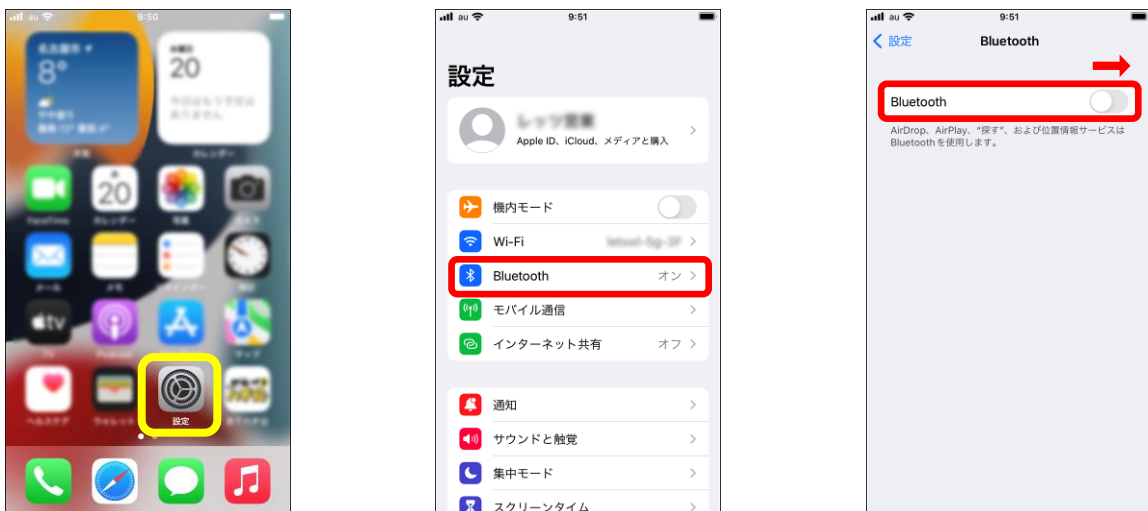
- ・ ご使用の携帯電話に、Bluetoothのハンズフリー通話機能[HFP]があることを確認してください。
- ・ Bluetoothの接続方法は、ご使用の携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- ・ この操作は、本製品の近く（10m以内）で行ってください。
- ・ 携帯電話の機種によっては、電源を切ると、再起動してもペアリングが切断されたままの場合があります。その場合、ペアリングをやり直してください。


ペアリングの設定例を、以下に示します。

OS(iOS や Android など)のバージョンの違いや端末の種類により、操作方法が異なります。


1. 5. 4. 1 スマートフォン【iOS 端末】の場合

例：iOS 15.3.1の場合



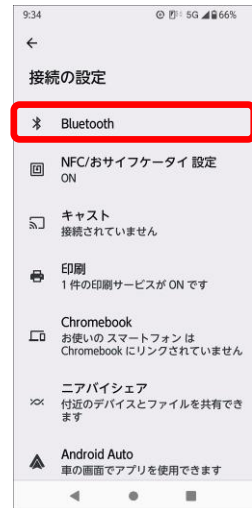
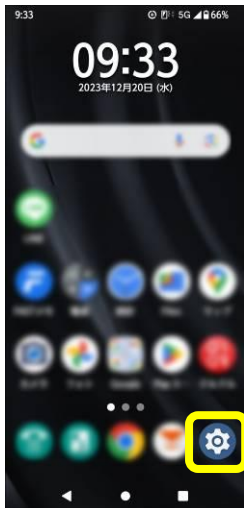
- (1) ホーム画面から、 設定アイコンをタップします。
- (2) [Bluetooth]をタップします。
- (3) Bluetoothがオフになっている場合、Bluetoothスイッチを右へスライドして、Bluetoothをオンにします。




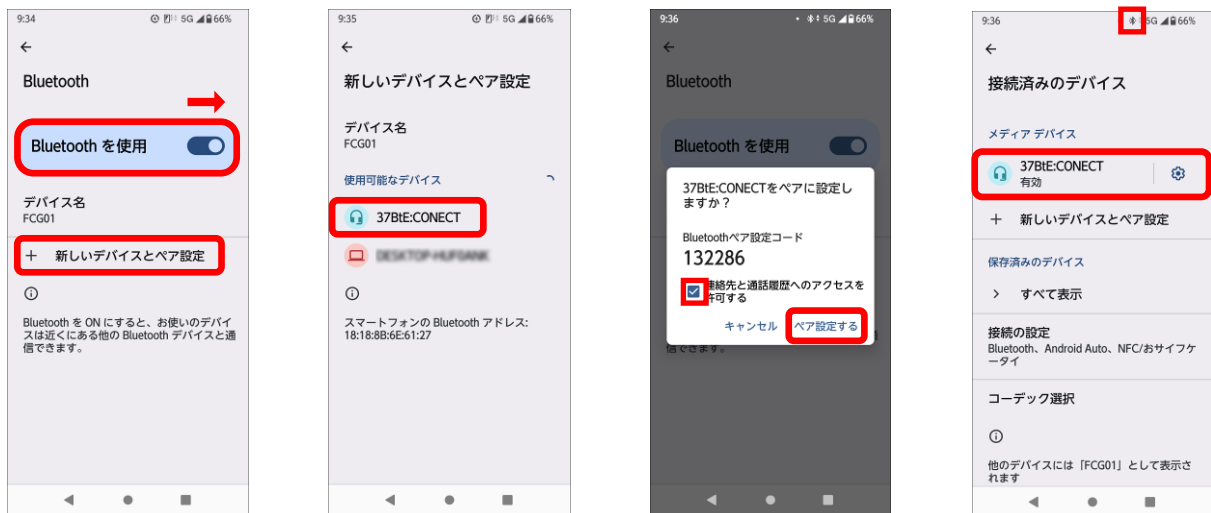
- (4) 周辺の Bluetooth 機器の検索が始まります。しばらくすると、デバイスのリストに本製品名「**BtE:CONNECT」（**は本製品の ID 番号）が表示されます。本製品名「**BtE:CONNECT」をタップし、ペアリングを開始します。
- (5) Bluetooth ペアリングの要求画面が表示されたら、[ペアリング]をタップします。
- (6) 本製品名「**BtE:CONNECT」の右側に「接続済み」と表示されると、ペアリングの完了です。
画面右上側に、Bluetooth 接続中を示す  アイコンが表示されます。


1. 5. 4. 2 スマートフォン【Android 端末】の場合

例：Android 13 (FCG01)の場合



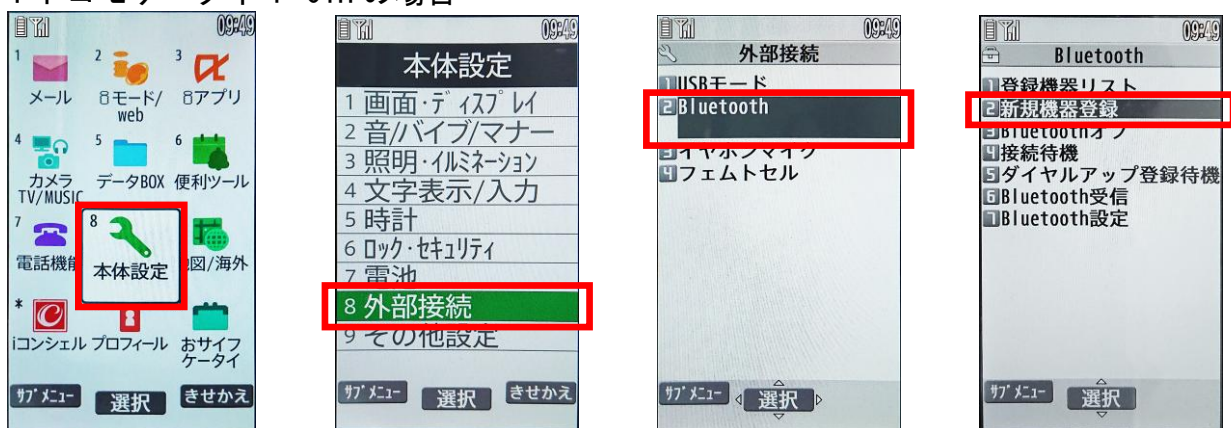
- (1) ホーム画面から、 [設定]アイコンをタップします。
- (2) [接続済みのデバイス]をタップします。
- (3) [接続の設定]をタップします。
- (4) [Bluetooth]をタップします。



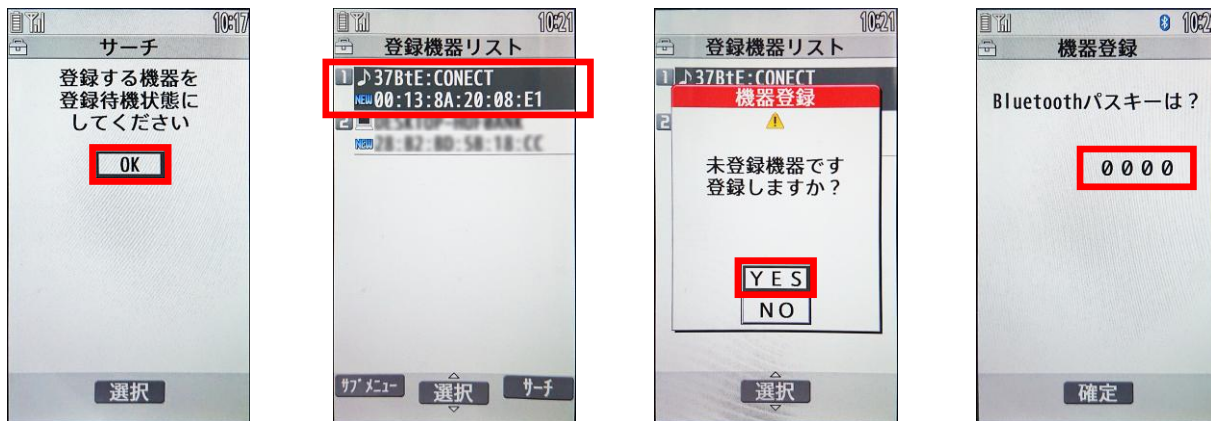
- (5) Bluetooth がオフになっている場合、Bluetooth スイッチを右へスライドして、Bluetooth をオンにしてから、[新しいデバイスとペア設定] をタップします。
- (6) 周辺の Bluetooth 機器の検索が始まります。
しばらくすると、本製品名「**BtE:CONNECT」(**は本製品の ID 番号) が表示されます。
本製品名「**BtE:CONNECT」をタップし、ペアリングを開始します。
- (7) 設定許可画面が表示されます。「連絡先と通話履歴へのアクセスを許可する」に☑を入れてから、[ペア設定する] をタップします。
- (8) 接続済みのデバイスに、本製品名が表示されれば、ペアリングの完了です。
画面右上側に、Bluetooth 接続中を示す  アイコンが表示されます。

1. 5. 4. 3 携帯電話【ケータイ】の場合

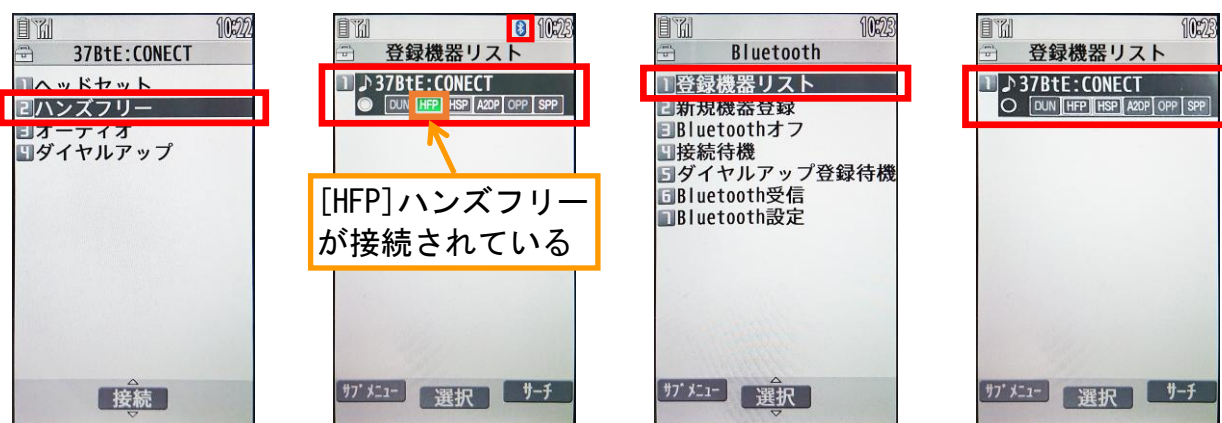
例：ドコモケータイ P-01H の場合



- (1) 設定メニューを開き、[本体設定] を選択します。
- (2) 本体設定メニューから、[外部接続] を選択します。
- (3) 外部接続メニューから、[Bluetooth] を選択します。
- (4) Bluetooth メニューから、[新規機器登録] を選択します。




- (5) サーチ画面が表示されたら、[OK]を選択します。接続可能な機器を検索します。しばらくすると、「機器検索完了しました」を表示されます。
- (6) 登録機器リスト画面に、Bluetooth 接続可能な機器が表示されます。本製品名「**BtE:CONNECT」（**は本製品の ID 番号）が表示されます。本製品「**BtE:CONNECT」を選択します。
- (7) 機器登録画面が表示されます。[YES]を選択します。
- (8) Bluetooth パスキーの入力が要求された場合、テンキーから[0000]と入力します。登録を開始します。しばらくすると、「機器登録完了しました」を表示されます。



- (9) 接続サービスの選択画面が表示された場合、[ハンズフリー]を選択します。
- (10) 登録機器リスト画面が表示され、本製品「**BtE:CONNECT」が登録されています。前の画面に戻る操作をして、ペアリング操作を終了します。

●本製品とペアリングしたことがあり、携帯電話に本製品が登録されている場合

- (1) Bluetooth メニュー画面を表示させ、[登録機器リスト]を選択します。
- (2) 本製品「**BtE:CONNECT」を選択します。
- (3) [ハンズフリー]を選択します。
- (4) Bluetooth パスキーの入力が要求されます。テンキーから[0000]を入力します。
- (5) 接続が完了すると、「**BtE:CONNECT と接続しました」と表示されます。「別のサービスにも接続しますか？」は、[NO]を選択します。

【メモ】画面右上側に、 アイコンが表示されると、Bluetooth 接続されています。

1. 5. 5 ペアリングの確認

携帯電話のペアリング接続を完了すると、本体背面の動作表示LED(赤)が点滅を開始します。

1分以上消灯状態が継続する場合は、ペアリングの設定が完了していないか、別のBluetooth機器に接続されている可能性があります。ペアリングをやり直してください。LED(赤)が点滅状態に移行すれば、本製品が動作可能になったことを示します。

LED(赤)が早い点滅をしている場合、ペアリングの設定が完了していますが、本製品と携帯電話が離れ過ぎているなどの理由により、Bluetooth通信ができない状態です。

本製品の電源をオフにし、再びオンした場合、電源のオン直後1分程度はLED(赤)が消灯していますが、その後点滅に移行します。

また、内線電話(PBX)の受話器をオフフック(上げている)、または携帯電話に着信があった場合には、LED(赤)が点灯状態になります。

1. 6 壁に掛けて設置する場合

平らな場所に設置する場合は、本作業は必要ありません。

本製品を壁に掛けて設置する場合は、壁側に3本のネジを取り付けて本製品を引っ掛けます。



注意

- ・ドアの開閉等による振動が伝わらない場所に設置してください。
- ・本製品を垂直に掛けてください。傾くと本製品がネジから外れて落下する恐れがあります。破損やケガの原因となることがあります。

【お願い】

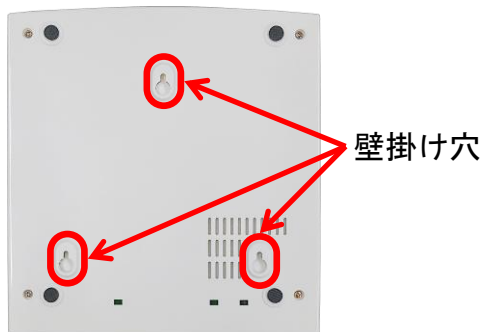
- ・壁に掛けて設置する場合、壁の材質に合わせたネジが3本必要となります。
- ・お客様側で、M3の皿タッピングネジをご用意ください。

(1) 壁側にネジを3ヶ所取り付けます。

【お知らせ】

ネジの取り付け位置を示した壁設置用台紙を、弊社ホームページで用意しています。以下のアドレスにアクセスし、ダウンロードしてください。
<https://www.lets-co.jp/lets/econnect/bte.html>

(2) 本製品の壁掛け穴に、ネジを引っ掛けて設置します。



1. 7 設置・接続での注意

- 携帯電話を電波の届きやすい場所に設置してください。
- 本製品は安定した場所に設置してください。
- 本製品を壁掛け設置した場合は、運用中に落下しないよう、壁掛け穴にネジを確実に引っ掛けてください。
- 各種接続ケーブルは、お客様がつまづいて転倒したり、不要な力がかかって機器を破損したりしないよう、収容場所に留意してください。
- 複数の本製品相当の機能を有する装置を近接した場所に設置する場合、接続される携帯電話も含め、それぞれの装置間に30cm以上の距離を確保してください。(携帯電話同士が接近していると、携帯電話網の特性により、通話中に意図せず切断されたり、発信不可能になるなど、動作不良が発生する要因となります)
- 本製品の電源は付属のACアダプタおよびACコードを使用してください。また、通話中に“ブーン”という雑音が聞こえる場合は、電源コンセントを逆に挿し直してみてください。音声品質が改善される場合があります。
- 停電時は、本製品をご使用になれません。
- 携帯電話のバッテリーが非常に少ない時には、携帯電話が動作しない場合がありますので、一旦、携帯電話専用の充電器で当該携帯電話を充電してから設置、接続してください。
- 携帯電話に問題（SIMカード接触不良、ハングアップなど）がある場合、携帯電話を本製品から取り外し、電源のオフ、オンを行ってください。再度接続する場合は、本製品の電源のオフ、オンも行ってください。
- 本製品から別の本製品と通話する場合、通話時の音声品質が低下することがあります。
- 携帯電話を本製品に接続する場合は、必ず携帯電話の電源がオンになっていることを確認してください。
- 携帯電話の設定で「キャッチホン」相当の機能は必ずオフにしてください。
- 1台で複数の電話番号が利用できる契約をしている携帯電話は、「キャッチホン」と同等の動作になるため、本製品に接続して使用することはできません。

2. 各種設定

必要に応じて、本製品の機能を活用するためにいくつかの設定を行う必要があります。設定操作には大きく分けて2種類あります。

●機能設定 手順 1

本製品の電話端子に、単独電話機（PB 音送出可能なもの）を接続してプッシュボタン操作で行います

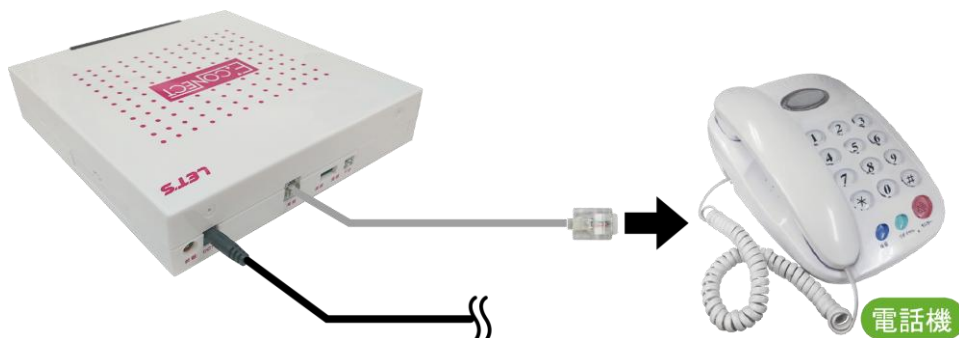
●音量設定 手順 2

本製品の背面部にあるボリュームダイヤルを操作して行います。

2. 1 機能設定

手順 1

- (1) 本製品の電話端子に、単独電話機（PB 音送出可能なもの）を接続します。



- (2) 本製品の電源をオンにします。
- (3) 単独電話機の受話器をオフフックします。「ツー」と言うダイヤルトーンが聞こえます。
- (4) 単独電話機のプッシュボタンを * # の順に押してください。
- (5) 続けて、単独電話機のプッシュボタンで変更したい設定項目の番号を3桁入力してください。（設定項目については、次ページを参照）
- (6) 3桁の設定項目の入力が正しければ、再びダイヤルトーンが聞こえます。
（誤りがある場合は、ビジートーン（話中音）が聞こえます。この場合、受話器を一旦下ろしてから、再度(3)の手順からやり直してください）
- (7) 設定項目に対応した設定値を単独電話機のプッシュボタンで入力してください。桁数および値の範囲は設定項目によって異なります。
- (8) 入力が終了したら、# ボタンを押して確定してください。
- (9) 入力された値が正しい場合、「トゥ・トゥ・トゥ…」のような音が聞こえます。
誤りがある場合、ビジートーン（話中音）が聞こえます。
- (10) 正常あるいはビジートーンが聞こえる場合、共に、一旦受話器を下ろしてください。
- (11) 再入力する場合や、別の設定項目の変更を行う場合は、(3)の手順から繰り返してください。
- (12) 設定を終了する場合は、電話端子から単独電話機を取り外し、内線電話(PBX)へのモジュラーケーブルを接続します。

2. 1. 1 事業者識別番号の解除設定

* # 1 0 8
X X X X X X X X #
0033や0039などの事業者識別番号を削除する設定です。 X 部分の桁数は0桁から8桁（可変長）。 0～9までの数字のみ登録可能です。*、#は登録できません。 * # 1 0 8 # と設定すると、未登録状態になります。
初期値は設定されていない（未登録状態）

2. 1. 2 内線電話(PBX) DP/PB 種別

* # 1 2 1
0 # DP/PB 自動認識
1 # PB のみ認識
内線電話(PBX)のPB/DP取得区分を設定します。
初期値は0 # (PB/DP 自動認識)

2. 1. 3 ナンバーディスプレイ有無設定

* # 2 0 2
0 # ナンバーディスプレイ無
1 # ナンバーディスプレイ有
ナンバーディスプレイ表示を行うか否かを設定します。 この設定を変更した場合、必ず本製品の電源オフオン操作を行ってください。
初期値は0 # (ナンバーディスプレイ無)

2. 1. 4 携帯電話着信拒否区分設定

* # 2 0 9
0 # 着信許可
1 # 着信拒否
本製品を発信専用で使用するときを設定します。 着信拒否設定がなされている場合、携帯電話に着信できなくなります。
初期値は0 # (着信許可)

2. 1. 5 本製品のIDを登録

* # 9 0 1 X X
本製品のIDを登録
“XX”は任意の2ケタの数字です。
本製品本機のIDを登録します。 プッシュ操作後、電源をオフ/オンすると、本製品のIDが登録されます。 本製品1台に対し、携帯電話は1台のみ接続可能です。 本製品を複数台設置する場合、接続する携帯電話が正しく接続できるようにBluetooth接続画面で、本製品のIDを表示します。 例：IDを“03”と登録すると、Bluetooth接続画面では、 “03BtE:CONNECT”と表示されます。 この設定を変更した場合、必ず本製品の電源オフオン操作を行ってください。

2. 1. 6 ペアリングを解除

* # 9 0 0
ペアリングの解除を実行
本製品の Bluetooth のペアリングを解除します。 プッシュ操作後、電源をオフ/オンすると、ペアリングが解除されます。 この設定を変更した場合、必ず本製品の電源オフ/オン操作を行ってください。

2. 1. 7 設定初期化

* # 9 0 8
設定初期化を実行
本製品の設定を工場出荷状態に戻します。 この設定を変更した場合、必ず本製品の電源オフ/オン操作を行ってください。

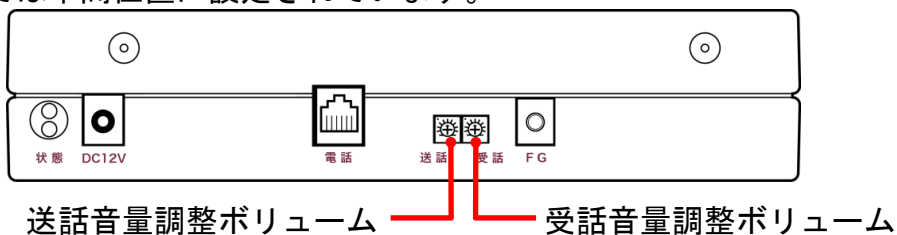
2. 2 音量設定

手順 2

本製品の背面部にある送話・受話音量調整ボリュームを操作して、通話音量を調整します。
プラスの精密ドライバーを用意してください。

- ・ボリュームを右に回転させると音量が大きくなります。
- ・ボリュームを左に回転させると音量が小さくなります。

出荷状態では中間位置に設定されています。



2. 3 エコーキャンセラ設定

手順 3

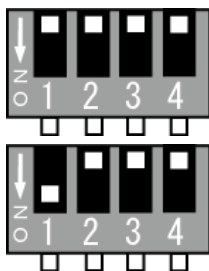
エコーキャンセラを有効にすると、通話中のエコー、ハウリング、ノイズを軽減することができます。反面、通話音声から人の声に含まれる一部の音声成分が除去されるため、自然な音質ではなくなる可能性があります。

また、本製品に搭載されたエコーキャンセラは、エコー、ハウリング、ノイズを完全に除去できることを保証するものではありません。

- (1) 本製品の側面調整用パネルを外します。



- (2) ディップスイッチ 1 を ON する (下げる) とエコーキャンセラが有効になります。出荷状態ではエコーキャンセラ無効 (上側) に設定されています。



ディップスイッチ 1 OFF 状態 : エコーキャンセラは無効です。

ディップスイッチ 1 ON 状態 : エコーキャンセラは有効です。

※ディップスイッチ 2、3、4 は必ず OFF (上側) の状態にしてください。

- (3) 本製品の側面調整用パネルを取り付けます。

3. 操作方法

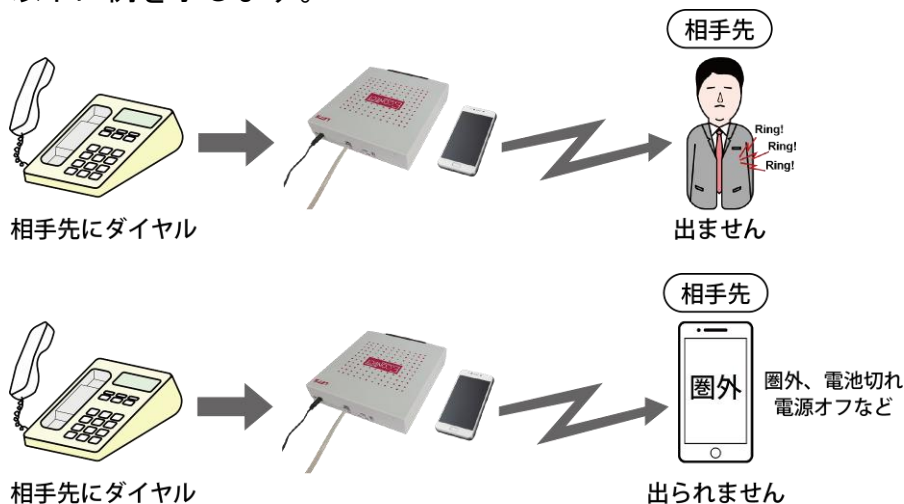
3. 1 内線電話(PBX)から電話をかける時

- (1) 内線電話機をオフフック(受話器を上げる)します。
- (2) 相手先が同市内の固定電話でも、必ず市外局番を付加してダイヤルしてください。
※本製品に取り付けた携帯電話が使用不能の場合、内線側にビジートーン(話中音)が聞こえます。
- (3) 相手が電話に出ると通話開始です。
- (4) 通話を終了する場合は、内線電話機をオンフック(受話器を下ろす)してください。
※一般の家庭用電話機の機種によっては、発信時に携帯電話の局番(090, 080)をダイヤルすると、自動的に事業者識別番号(0033, 0039等)を付加する機能を有するものがあります。
この機能は、固定回線から携帯電話へ発信する場合の通話料金の低減を目的としたものですが、本製品に取り付けられた携帯電話から発信を行う場合は、相手先に接続できません。(携帯電話から携帯電話への発信になるため)
家庭用電話機の設定を変更して、事業者識別番号を付加しないようにすることで、回避できますが、家庭用電話機の設定を変更したくない場合は、本製品の事業者識別番号の解除番号を設定(2. 1. 1項を参照)してください。

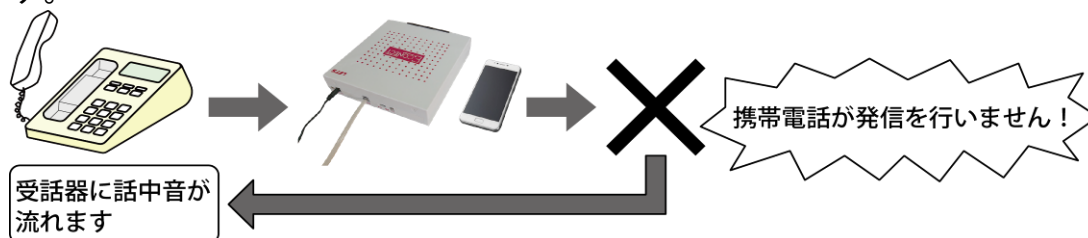
以下の注記は、携帯電話を使用している場合です。

- ※一部の携帯電話を接続してご使用の場合、発信時、相手先が電話に 응답しない状態が数回連続すると、それ以降の発信ができない状態になります。
これは、悪意を持った業者が携帯電話を利用して無作為に連続発信する行為を防止するため、携帯電話側に盛り込まれた機能です。
しかしながら、相手先未応答時に一旦受話器を下ろしてリダイヤルする行為は、通常にお使いいただく中でも起こりうる事象です。
これを回避するため、本製品は上記の状態を検知すると、自動的に携帯電話の電源をオフし、再度オンさせて継続利用ができるようになっています。

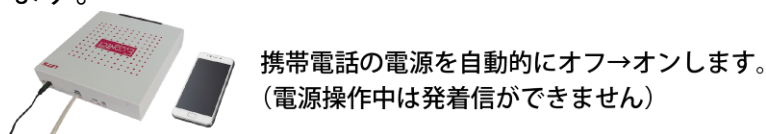
以下に例を示します。



相手先が何らかの事由により呼び出された電話に応答しない場合、または発信側で相手先の応答を待たずに呼び出し行為をやめた場合など、相手が呼び出された電話に出ない状況が短時間に数回連続すると、本製品に接続された携帯電話が発信規制を行うようになります。



本製品はこの状態を検知すると、携帯電話の電源リセットを行い、発信規制状態を解除します。



携帯電話が復帰すると、通常通り発着信が可能となります。



3. 2 携帯電話着信時

- (1) 携帯電話からの着信があると、内線電話が鳴動します。
内線電話が使用中（内線の受話器がオフフックされている）の場合、相手側の受話器には、話中音（ビジートーン）が流れます。
- (2) 内線電話機をオフフックすると、通話開始です。
- (3) 通話を終了する場合は、内線電話機をオンフック（受話器を下ろす）してください。

※ナンバーディスプレイに対応した内線電話機の場合、本製品のナンバーディスプレイ機能をオンにすることで、相手先の電話番号を着信前に表示することが可能です。携帯電話の制約により、相手先の電話番号を取得できない場合（公衆電話からの着信など）は、内線電話機には「非通知」として表示されます。ナンバーディスプレイに非対応の内線電話機の場合は、本製品のナンバーディスプレイ機能をオフにしてください。（2. 1. 3項を参照）設定を変更した場合、必ず本製品の電源をオフ・オン操作を行ってください。

※本製品が取り付けられた回線を発信専用でご使用になりたい場合、携帯電話を着信拒否に設定（2. 1. 4項を参照）してください。

4. 故障と考えられる時

一度、各項目をご確認ください。

症 状	確 認 及 び 対 処
電源 LED(緑)が点灯しない	<ul style="list-style-type: none"> ・電源ケーブルが抜けていませんか？ →電源を確認してください。
動作表示 LED(赤)が消灯している	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の電源はオンになっていますか？ →携帯電話の電源を確認してください。 ・携帯電話のバッテリー残量が少なくなっていますか？ →携帯電話のバッテリーが完全に空になっている場合は、一旦、携帯電話付属の充電器で充電を行った後に接続してください。 ・携帯電話は本製品に適合していますか？ →携帯電話の機種をご確認ください。 ・運用中に携帯電話を本製品から取り外した場合、携帯電話を接続し直して、本製品の電源を一旦切り、再度電源投入を行ってください。 ・Bluetooth 接続がオンになっていますか？ →携帯電話の設定画面から、Bluetooth 接続をオンに切り替えます。 →本体と携帯電話が離れていたり(約 10m 以上)、障害物があると、電波が届きません。近くに設置してください。 ・ペアリングの設定が正しくされていますか？ →携帯電話の取扱説明書を参照して、ペアリング接続をやり直してください。 →携帯電話の機種により、Bluetooth の接続種類を選択する必要があります。ハンズフリーモードを選択してください。 →(複数台設置した場合、)他の場所に設置した本製品に接続されている場合があります。本製品の ID を設定し直してから、ペアリング接続を行ってください。 →携帯電話を一度オフにすると、ペアリング接続が切れます。再度ペアリング接続を行ってください。
動作表示 LED(赤)が点灯したままになっている	<ul style="list-style-type: none"> ・内線電話機の手話器があがったままになっていませんか？ →手話器を下ろしてください。
動作表示 LED(赤)が速い点滅をしている	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話が本体と離れすぎていませんか？ →本体と携帯電話が離れていたり(約 10m 以上)、障害物があると、電波が届きません。近くに設置してください。 ・携帯電話の電源はオンになっていますか？ →携帯電話の電源を確認してください。 ・ペアリングの設定が正しくされていますか？ →携帯電話を一度オフにすると、ペアリング接続が切れます。再度ペアリング接続を行ってください。 →(複数台設置した場合、)他の場所に設置した本製品に接続されている場合があります。本製品の ID を設定し直してから、ペアリング接続を行ってください。
動作表示 LED(赤)が点滅しているにもかかわらず、本製品に接続された内線側から携帯電話経由の発信できない	<ul style="list-style-type: none"> ・携帯電話の電源がオフになっていませんか？ →携帯電話の機種によっては、携帯電話の電源オフ状態でも通話機能以外の部分が動作しているものがあります。必ず、携帯電話の電源をオンにした状態で本製品に接続してください。 ・携帯電話の状態は待ち受け画面になっていますか？ →携帯電話の機種によっては、待ち受け画面以外の状態では発信制御を受け付けられないものがあります。携帯電話の液晶画面で待ち受け状態になっているのを確認してください。

症 状	確 認 及 び 対 処
相手の声が聞こえなかったり、相手に声が届かない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯電話の音量設定は適切ですか？ → 携帯電話の機種によっては携帯電話の音量設定が必要な場合があります。携帯電話の取扱説明書を参照してください。 ・ 接続されている携帯電話の電波状態は良好ですか ・ 本製品の携帯電話送信／受信音量設定は適正值ですか？ → 送信、受信の音量が最適になるように本製品の設定を行ってください。
携帯電話に着信しても本製品に接続された内線側で応答できない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯電話の SIM カードを抜き差しした場合は、必ず携帯電話でネットワーク設定をおこなってください。 → 携帯電話の取扱説明書を参照してください。
発信はできるが着信できない	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品の設定が携帯電話着信拒否になっていませんか？ → 本製品の設定を変更してください ・ ナンバーディスプレイ非対応の内線電話機 (PBX) に接続する場合、必ず本製品のナンバーディスプレイ設定を「無」にしてください。
携帯電話での通話中に回線が切断される	<ul style="list-style-type: none"> ・ 携帯電話の電波状態は良好ですか？ ・ 携帯電話がキャッチホンを許可する設定になっていませんか？ → 本製品は携帯電話のキャッチホン機能には対応していません。通話中に第三者からの着信があると切断状態になることがあります。 → 携帯電話の設定を変更してください。

上記の処置で、異常が改善されない場合は、装置の故障が考えられます。
 購入店か弊社のサービス取扱所に修理をご依頼ください。
 修理の過程で、各種設定情報を消去する場合がございますのでご了承ください。

5. 仕様一覧

接続可能携帯電話数	1 台
接続可能内線電話数	1 回線
携帯電話接続方式	Bluetooth Hands-Free Profile (HFP)
Bluetooth 通信方式	Bluetooth 標準規格 Ver. 2.0 以降
Bluetooth 通信距離	見通しの良い状態で約 10m [※]
電源	AC アダプタ (入力: AC100V 50Hz/60Hz 出力: DC12V/2A)
消費電力	最大 24W (待機時 10W)
動作温度	0°C～40°C
湿度	30%～90%RH (結露なきこと)
本体寸法	220mm×210mm×45mm (奥行×幅×高さ) 突起物含まず
本体重量	約 600g

※：通信機器間の障害物や電波状態により変化します。

製品保証書

型番	LH-160-BTE	製造番号	
お買い上げ日	年 月 日		
保証期間	(お買い上げ日より)		
郵便番号	□□□□□□		
ご住所		TEL	
ご会社名			
ご担当者名	様	TEL	
代理店			
住所			
氏名		TEL	
営業所名			営業所
住所			
担当者		TEL	

この製品は下記の通り保証いたします。

1. この製品は、厳密な品質管理と検査を経てお届けしたものです。保証期間内に、異常な使用状態において万一故障した場合には、1年間無償で修理いたします。
2. 修理は当社営業所・サービスセンターに、必ずこの保証書をご提示の上お申しつけください。
3. 無償修理期間中、下記に記載する項目に該当する場合は有償修理となります。
4. この保証書は、本国内においてのみ有効です。
(This Warranty is valid in JAPAN)
6. 保証書に印鑑なきものは無効です。

LET'S

株式会社 レッツ

今、求められるニーズを

コーポレーション



次の場合には有償修理となります。

- (イ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障および損傷。
- (ロ) お買い上げ後の搬送、移動、落下等による故障および損傷。
- (ハ) 付属機器、回線、故障および損傷。
- (ニ) 火災、風水害、地震、雷その他の天災地変および異常電圧、指定外の使用電源（電圧・周波数）などによる故障および損傷。
- (ホ) 特殊環境（たとえば極度の湿気、塩害、ガス害、公害、塵埃、極寒など）による故障および損傷。
- (ヘ) 保証書のご提示がない場合。
- (ト) 保証書の紛失あるいは所定事項の未記入または字句を勝手に訂正された場合。

※仕様および外観は、改良のため予告なく変更されることがありますので、ご了承ください。

お問い合わせ先

本製品についてのお問い合わせは、販売店もしくは弊社までお願いいたします。

株式会社 **レッツ** コーポレーション

■カスタマーサービス

受付時間：9：30～18：00（土曜、日曜、祝日、年末年始を除く）

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内二丁目20-1 レッツ丸の内本社2号館ビル

TEL：052-209-7860

FAX：052-201-5050

URL：<https://lets-co.jp>

■本社

〒460-0002

愛知県名古屋市中区丸の内二丁目20-1 レッツ丸の内本社2号館ビル

TEL：052-201-6230

FAX：052-201-5050

■東京営業所

〒104-0061

東京都中央区銀座八丁目19-3 銀座竹葉亭ビル6F

TEL：03-3546-0889

FAX：03-3546-0941

■大阪営業所

〒532-0003

大阪府大阪市淀川区宮原1-2-9 新大阪ハイロードビル5F

TEL：06-6151-5749